

令和3年

国東市教育委員会 第6回 定例会
会議録

日時：令和3年6月23日（水）午前9時30分
場所：アスト3階会議室

第6回定例会議事日程

会 期

令和3年6月23日(水)

開会 午前 9時30分

閉会 午前 11時28分

場 所

アスト3階会議室

議 事

議案第19号 準要保護児童・生徒に対する就学援助費の認定について

報告・説明事項

国東市部活動検討委員会設置要綱の制定について

令和3年度国東市一般会計補正予算(6月補正)について

令和3年第2回国東市議会定例会 一般質問・議案質疑について

その他

大分県市町村教育委員会連合会

令和3年度総会の議事に関する書面表決について

出席者(12名)

教育委員(5名)

教 育 長

河 野 盛 次

教育長職務代理者

高 山 信 哉

委 員

吉 武 耕一朗

委 員

福 永 泰 信

委 員

古 城 芙美枝

教育委員会事務局(7名)

教育総務課長

山 下 孝 子

学校教育課長

諸 富 理

社会教育課長

猪 俣 優

文化財課長

井 上 浩

図書館長

松 本 智恵美

給食センター所長

都 留 幸 雄

【午前 9 時 3 0 分】

山下教育総務課長 開会宣言

【教育長あいさつ】

河 野 教 育 長

【会議録署名委員指名】

河 野 教 育 長 会議録署名委員に高山委員、福永委員を指名

【前回会議録承認】

全委員承認

【各課報告及び今後の日程】

山下教育総務課長 6/ 1 第 2 回管理職会議
6/ 3 国東市議会全員協議会
6/ 3 定例記者会見
6/ 7 大分県市町村教育長会議
6/ 9 学校安全衛生委員会
6/10 国東市議会第 2 回定例会 開会
6/14 開校準備委員会 第 1・2 部会
6/17・18 国東市議会第 2 回定例会 一般質問
6/22 国東市議会第 2 回定例会 議案質疑
6/23 教育委員会 第 6 回定例会
6/24 国東市議会文教厚生常任委員会
6/30 国東市議会第 2 回定例会 閉会
6/30 国東市男女共同参画審議会
7/ 1 第 3 回管理職会議
7/ 5 国東高校・双国高校支援連絡協議会総会
7/19 国東高校・双国高校支援連絡協議会要請行動

諸富学校教育課長 6/ 1・3・7・8・9 第 1 回教育長・校長等面談
6/ 2 第 1 回くにさき地区教育研究会
6/ 8・9 中学校郡市総合体育大会
6/11 教科書展示開始
6/14 認知症サポート－養成講座

6/14 国東市1人1台端末活用研修会
6/21～28 第1回別府教育事務所学校訪問
6/22 中学校郡市陸上記録会
6/23 第1回中学校教科研修協議会
6/23 文教厚生委員による放課後英語学習の視察
6/29 第2回国東市校長会
7/20 1学期終業式
7/21 第2回国東市特別支援教育支援員研修会
7/21～29 大分県中学校総合体育大会

猪俣社会教育課長 6/ 2 第1回身になる人権講座
6/12 くにみ海浜公園海開き
6/23 第1回国東市人権を学ぶ会・開講式
7/ 1 第1回社会教育委員会
7/15 地区館長・主事会議
7/21 第2回身になる人権講座

井上文化財課長 6/ 8 土器づくり講座
6/ 9 出前事業(竹田津小)
6/11 たたら製鉄講座
6/15 とんぼ玉講座
6/16 出前事業(伊美小)
6/22 国東小田植え
6/26 くにさき学推進委員会
7/ 3～ 弥生アラカルト
7/ 6 文化財調査委員会
修学旅行の受入予約状況を報告

都留給食センター所長 6/ 1 第1回学校給食共同調理場運営委員会【延期】
給食調理場の巡視を行い、改善していく取組を報告
1回目の給食費口座引き落としの結果を報告

松本図書館長 6/ 1 ブックスタート(1歳半健診)
6/ 8 ブックスタート(4・5カ月健診)
6/10 あかちゃんおはなし会
6/12 4館おはなし会
6/15 ブックスタート(1歳半健診)
6/23 選書会議

7/ 8 あかちゃんおはなし会
7/10 4館おはなし会
7/14 県立図書館巡回訪問
7/20 ブックスタート(1歳半健診)
7/21~28 夏の工作教室
7/27 ブックスタート(4・5カ月健診)

福永委員 給食の調理場を視察されて、改善できる場所があれば改善していきたいというのはすごく良い取組だと思います。最近他の県で食中毒が出ましたが、そういったところも含めて管理を徹底していただけたらと思います。

河野教育長 ありがとうございます。

高山委員 私が教育委員になって8年目になりますが、人権教育に関しての話題は、以前よりは少なくなった気がします。小中学校での人権教育に関して、以前よりもやや少なくなっているのかどうか質問します。

諸富学校教育課長 今、どの学校も人権教育推進計画を作成して、これは人権8課題全て、重要であるという事から、バランスよく計画的に年間を通して学習ができるように、それを教育課程の中にも入れて、すべての学校で推進をしています。ですから、以前より停滞しているという認識ではないのですが、バランスよく人権教育を推進していると捉えています。

古城委員 社会教育課の「国東市人権を学ぶ会」について、参加予定者が高校生2人だけという事ですが、一般の方にも募集をされているのか、どのように募集をされているのかお伺いします。

猪俣社会教育課長 人権を学ぶ会につきましては小学校5年生以上から高校生まだに募集をかけて、人権の正しい理解を深めるために学んでいただく会です。今のところ、高校生が2人だけという事で、各学校に再度募集をかけるだけ多くの方に集まっていただけるように努力しているところであります。

【議 事】

議案第 19 号 準要保護児童・生徒に対する就学援助費の認定について

山下教育総務課長 配付資料をもとに議事内容について説明
河野教育長 認定という事で決定してよろしいでしょうか。
全 委 員 はい、よいです。

【報告・説明事項】

○国東市部活動検討委員会設置要綱の制定について

諸富学校教育課長 配付資料をもとに内容について説明
河野教育長 このスケジュールはどういった予定ですか。
諸富学校教育課長 令和4年度から試行ということで実施できればと思っています。そのためには、生徒の移動等に予算を伴う事も考えられますので、来年度の予算計上に間に合うよう、10月中には方向性を出したいと思っています。

河野教育長 先般の中体連では、野球で志成学園が単独でチームが組めなくて、国東中学校の1年生を借りてきて大会に出場しました。野球やサッカーについてはクラブチームに進む子どもさんも増えてきており、人口減少と併せて、部活動の存続が厳しい状況にあります。今日の文書の発出で、各中学校の関係者の方の意見を徴収して、現状を踏まえて、設置要綱に基づいたメンバーに素案としてお示しをしたうえで議論をしていただく、というふうに進めていきたいと思っています。また、それぞれの段階でご意見をいただければと思います。

福永委員 団体としての部活動が難しいのであれば、違う種目を取り入れることも考えてみてはどうかと思います。

河野教育長 種目はかなり限られてきていますが、そういった観点も学校のほうから要望が出てくれば、検討材料となり得ると思います。要は、子ども達のために、いかに部活動を続けていけるのか、という視点か、と思っていますので、子ども視点で、学校の意見も聴いた上で素案を作るという手続きを踏んでいきたいと思っています。他にご意見はよろしいでしょうか。

全 委 員 はい、よいです。

○令和3年度国東市一般会計補正予算（6月補正）について

山下教育総務課長 配付資料をもとに内容について説明

諸富学校教育課長 配付資料をもとに内容について説明

福 永 委 員 放課後英語学習についてですが、コミュニケーション能力を付けるという事が大きな目標だったと思います。その成果を測るのに英検を受けてもらうようになっていると思いますが、英検はコミュニケーション能力を測るテストでは無いように感じています。英検を受けることが本当に成果を測る指標になっているとは思えない、もっと違う形で判断されるべきではないかと思えます。

諸富学校教育課長 私たちが受けてきた昔の英語の授業は文法が中心で、なかなか学校で英語の授業を受けても話せるようにはならなかったことが大きな課題だったと思います。今の学習指導要領では、英語の学習は、読む力、書く力、聞く力、そして話す力、この4つの技能がバランス良く育成されることが重要だと謳われています。ですから学校の授業もその4技能をバランス良く育成しようとしているわけですが、話す力については、残念ながら高校入試の内容ではない現状の中、なかなか話す力が充分ついていかないという課題があるわけです。そこをなんとかクリアしたいというところからの取組です。その成果をみとる指標として、英検が適切なのかというご質問ですが、私は、英検は適切であると考えています。というのは3級以上から英語による面接試験が英検には入っています。英語でのやり取りをして、もちろん聞く力も試されますが、どれだけ話せるか、それがしっかりとした力がついていないと英検の3級以上には合格しないという仕組みになっています。そこに目を付けて大学入試センターは導入しようと考えたわけです。それ位、話す力もしっかりみとる事ができると位置付けられているものですので、私は適切であるというふうに考えているところです。

福 永 委 員 これだけの税金を投入して、事業を行うのであれば、成果は英検の結果ではなく、対象の子ども達がどの位、一年間を通して能力がついたのか、もっと違うやり方で測る方が良いのではないかと、それを多くの市民に対してもこの取組に対してどういう成果があったのか示すべきではないかと、そし

て今後この子ども達が育っていった後にどういうふうに変
わっていったのか、そういった検証も必要だと思えます。
あまりにも予算は大きいので、もうちょっと違うやり方が
あるのではないかと思えます。

諸富学校教育課長

これだけのお金をかけているからこそ、その成果というも
のをより客観的にみとる必要があると思っているのです。
何となく私たちが見た範囲で「英語がうまくなったね」、そ
う言ったみとり、評価も大事だとは思いますが、これだけ成
果が挙がっていますというのを客観的な指標でみとる事が
必要だと思っ、そのためには英検が効果的だと考えてい
るのです。志成学園できちんと成果が挙げれば、その先は他
の学校の子ども達も対象となるように広げていきたいと思
っています。先ほど話した課題は、どの子にも共通する課題
なので、何とか英語を話す力を身につけて、高校に送り出
したいと思っています。

河野教育長

この放課後英語学習は、受験英語ではなく、世界に通用する
人材を、英語を通じて育てようという観点での英語で、ネイ
ティブの方が子ども達といろいろなやり取りをしながら英
語力を付けていく、授業の中でも海外と結んで、子ども達に
海外の方とのいろいろなやり取りをやってもらおう、こう
いった授業内容になっています。そういった意味で、英語力
だけでなく、グローバル人材に必要な他の要素、故郷を愛し
説明できるか、挑戦できるか、使命感はあるのか、自分の考
え方をちゃんと説明できるのか、こういった能力をこの中
で養成してもらおう、志成学園の位置付けとして、そういっ
た子どもを育てようという事で、今回事業としてやってい
ます。そんな中から、いろいろなご意見をいただいて、何で
志成だけなのか、もっとしっかり広げてくれという事にな
ってきます。志成については、市外に流出する子ども達を止
めるダムとして、この志成を設けようという大きな発想が
あります。ダムを設けなければどんどん市外に流出してい
きます。志成にはどこの地域からでも通学・入学でき、国東
市全体をカバーする学園としてこの志成をつくったという
経過がございますので、高い理想を持って今回この事業を
行ったという事であり、これについては賛否両論があ
りますが、いろんな意見を聞きながら、修正できる点は修正
していこうと思っています。

吉武委員

英語力は一朝一夕では付きませんし、こういう事を地道に

やっていく事が必要だと思っています。最終的に検証するのは英検しかないと思うので良いのではないかと思います。他の学校に広げるといのは全体の基礎学力を考えた時に必要があると思うので、今後どうしていくのか検討が必要だと思っています。

河野教育長 それを含めて、次の報告の内容で少し考え方を述べていますので、ご紹介してご意見をいただきたいと思います。

○令和3年第2回国東市議会定例会 一般質問・議案質疑について

猪俣社会教育課長 配付資料をもとに一般質問の内容について説明

河野教育長 配付資料をもとに一般質問の内容について説明

高山委員 教育長より「国東市でも十分な教育が受けられることを示すことの必要性」についての説明に関連した、高校の教員の問題ですが、大分、別府にいたら一度外に出ないといけない、そうすると、ほとんどの教員が大分、別府に住んでいるので、出るのなら杵築まで、臼杵まで、そう考える方も多かったです。そうなった時に、国東高校の合併前はまだ進学で頑張りたいと言う人が、少数ですが、国東に来ないこともなかったです。ただ、合併後は、5教科の教員で、本当に教科で頑張っていきたいという人が、国東高校を希望するという事がより難しくなった状況が出てきているのではなからうかと思えます。以前は国東市出身の方で教員になっている人が多かったので、ある程度、そういう方が地元に戻られる事も多かったですけど、私より下の世代になったら、教員になっている絶対数も国東市出身の方は少ないので、教員人材の配置というところが大事になってくると思っています。

河野教育長 平成20年から県教育委員会にいて、県の人事異動も含めて全面的に内容を変えました。小中学校と高校は全く違う人事制度をとっています。義務制の小中学校の場合は、昔は人事地域というものがあって、どこで勤務するかはその教員その者が選ぶ、ですから自分の希望するところで勤務できる、ただ、数年に一回は外に出たうえでまた戻る、というような本人の希望を尊重した人事が行われていましたけど、それにくさびを入れて人事地域を全て廃止しました。加えて、教員採用から10年までの間は3つの市町村を経験してください、それは一切本人の希望は聞きません、もちろん家庭的な事情は聞きますけど、それはもう、県教育委員会なり

教育事務所なりの判断として、あなたは国東、あなたは佐伯という格好で出身地でないところでも異動をかけていきます。その来た人に頼らざるを得ないのが国東市の現状です。ですから、先ほど申し上げた10年くらいまでの若手に頼らざるを得ない国東市の現状においては、ここをいかに授業力を上げるかを重点化しないと、絶対に授業力は上がりません。ですから、若い人の人材育成は十分できているのか、それが十分なのかを課題として挙げています。高校の場合は、基本希望は関係ありません。年数も関係ありません。本人の希望に関係なく、全県一区で人事をかけていました。人事は、その教員の力量に応じてどこの学校だったらその力を発揮できるのかという事を考えて行われているようです。

吉 武 委 員 学校関係者も中学3年生の高校入試時の学力がこういう状況であることを認識していたのですか。

諸富学校教育課長 大分市だと県立高校の入試で何百人と落ちるわけですよ。だから中学3年生の時点でかなりの危機感は中学校にも生徒にもあろうかと思えます。その1年間をどう過ごすのかによって、かなりの差が出てくるのであろうと思われれます。国東の場合は近隣の学校は定員割れですから、緊張感がどうしても都市部と比べて欠けるところがあるのかと思っています。今、12月に小1から中2まで実施していた国東市学力調査を、中3まで実施をすることで、中3の子ども達の学力の状況を客観的に掴んでいく必要がある、それに向けて学校全体として取り組んでもらう必要があるのかと思っています。

吉 武 委 員 学校独自の中間テストや期末テストで、学校は把握していないとおかしいのではないですか。

河 野 教 育 長 今申し上げたのは業者テストです。

吉 武 委 員 先生が作る学期ごとの中間・期末テストがあるはずですよ。この段階で学校自体が、競争がなくても、今年の3年生はどういうレベルだと把握していると認識していました。大分市みたいに競争がないから点数が低いのだという説明でしたが、中間・期末テストの時点でどのくらいのレベルかは、学校の管理職は理解しておかないといけないと思えます。

河 野 教 育 長 他市と比べて自分の学校の置かれた状況については、たぶん理解していないと思われれます。頑張っているという気持

ちはあるのだけれど、数値が県内でどういった状況なのかは、感覚的にはこれくらいではないかと思っていて、現実的には、実際にそれを見せられて、初めて驚く結果となるのではないかと思います。

高山委員 中学校は今でも全県模試をしていますよね。最後が11月くらいですか。

諸富学校教育課長 そうですね。

高山委員 その時点で認識はできるという事ですか。

河野教育長 それは、全体の平均は出ますが、かなり制約されているので比較対象になかなか成りづらい部分があるでしょう。

古城委員 中学校の2年生くらいまでは、全県の模試等でどのくらいのレベルまで到達しているかわかるのですね。その時点では、総比較はないという考えで良いのですか。

河野教育長 高校入試は、全国学力学習状況調査と同じ発想で作っています。言ってみれば、学習指導要領に従った内容という観点から入試問題を作りますし、中学校で使う教科書の範疇でしか問題を出しません。ですから、ある意味では全国学力学習状況調査と同じような観点です。同じ観点での中3での調査と最後の高校入試にすごいギャップがあると、そうするとこの1年間は何だったのかとなるわけです。それで、同じような観点で作られている業者テストを中3でも行って、1年、2年、3年でどういうふうに変化していったのか、最後の到達点がどうなのか、ちょっときつい言い方になりますが、それに対して、校長がどれくらいリーダーシップを発揮できたのか、できなかったのか、といった観点から教育委員会は評価をしていこうと考えています。

古城委員 目標が3年生になれば、高校入試でどこを受けようか、どこだったら受かるかと、みなさんなりますが、国東高校だったら定員割れしているので頑張らなくても受かると思ってしまう、という事ですか。

河野教育長 そうですね。聞いてみますと、昨年度の入試で、県下の周辺部分の高校が全体で300人以上の定員割れが生じているようです。

福永委員 平均点や位置付けがどうか言われますが、それがそんなに大事なのかと私は思います。それに縛られて、すごくしんどいなと思います。社会に出てどういう繋がりがあるのか、何のために勉強しているのか、せめて小学生だったらもうちょっとのんびりと自由に体験をしながらいろんな事を学

んで過ごしても良いのではないかと思います。後、日本全国どこへ行っても同じ教育を受けられると言いますが、明らかに先生によって教え方の差が歴然としていますよね。学校現場の狭い中で、うまい先生もいますけど、その先生の技を盗もうとする意欲のある方もいれば、そうでない方もいらっしやる。楽しく、子ども達が食いつくような授業をしたいと思うのだったら、塾の講師に来てもらい教えてもらうのが、一番手っ取り早いと思うのです。先生はそれ以外にも仕事がたくさんあるので、大変なのはわかりますが、授業力にこれだけ差があると、授業力の乏しい先生にあたった子ども達は、1年間しんどい思いをするわけですよ。どうしたら良いのかわからないのだったら、そういったプロに講習を受けるなり、いろんなどころに出向いて力を身に付けるなりしたら良いのではないかと思います。

吉 武 委 員 まさしくそうですね。だからこそやっぱり学校のマネジメントをきっちりチェックし、全体を押し上げるような動きをしないといけないと思います。

河 野 教 育 長 平成 20 年に、私が県の教育委員会の時に、学校改革をスタートしたのですが、大分県独特の学校文化というものがそこにはあって、それを変えなければ学校は変わらない。当時、それまでは、(大分県の学力は)全国の最下位グループをさまよっていたわけです。その状況で、子どもが将来、いろんなどころに進もうとする時に、いろんな可能性なり、挑戦をできるような素地を学校教育として作っているのかと。

福 永 委 員 でも、今は、就職する人も一括採用がほとんどで、その時に就職できなかった子たちは、次の年に就職するとしても非常にきびしい状況ですよ。日本は。

河 野 教 育 長 今は新卒 5 年までに変わっているようです。

福 永 委 員 とはいっても、やっぱり一回その年に就職できなかった子ども達は、後からどんどん来るのですから、しんどい思いはしていますよね。何回でも挑戦できるのかもしれないのですけれど、いい進学校に行く、いい大学に行くだけでは、ちょっと太刀打ちできない世の中ですよ。今は。

吉 武 委 員 その中で、レベルを上げていくためには、学校教育課を含めて全体で頑張ってもらって、学力を身につかせるシステムをきっちり作っていく、そういう動きに持っていかなければならないと思います。

福 永 委 員 国語や算数などの教科の部分だけではなく、いろんな学力

が必要なのではないかと思います。

河野教育長 文科省がいう、「生きる力」という言葉を使うのですが、これは、知識・技能を習得したうえで、その知識・技能をいかに使って、活用して自分の人生を切り開いていけるか、という部分で、これがまさに、学力学習状況調査のベースの考え方なのです。ですから、単なる知識だけを植え付けるだけではだめですよ、それを活用できる能力が、今の混沌たる時代を生きるために必要な力なのです。という事で、まさにそれが知識だけでなく、活動を通じて若しくは自分の考え方を通じて自己実現ができるというのは大事であり、そのベースとなる知識・技能さえなかった場合は、活用も何もできないという事で、義務教育として最低限、そこは付けてあげなければならないと考えています。また、いろんな意見を委員さんから頂きながら、一個一個着実に進めていければと思っていますので、よろしくお願い致します。

諸富学校教育課長 配付資料をもとに議案質疑の内容について説明
河野教育長 よろしいでしょうか。
全 委 員 はい、よいです。

【その他】

○大分県市町村教育委員会連合会
令和3年度総会の議事に関する書面表決について

【午前11時28分 閉会】

山下教育総務課長 閉会宣言

令和3年7月27日

(署名委員) 教育委員 高山信哉 ㊟

教育委員 福永泰信 ㊟

(会議録作成者) 国東市教育委員会
事務局教育総務課総務係 萱島 洋人

